

消化器内科初期研修カリキュラム

【研修目標】

種々の消化器疾患とそれに伴うさまざまな症状を正しく理解し、適切なタイミングで上級医や専門医に適切にコンサルテーションができる。

一般目標 GIO :

すべての医師に必要とされる消化器科領域のプライマリケアができるようになるために、消化器疾患に伴う諸症状を理解し、情報の分析、全体像の把握によって、患者を全人的に理解するように心掛け、必要な基本手技を習得する。

行動目標 SB0s :

- 1) 病歴・身体所見・検査所見・必要な過去の資料に関して適切な情報収集が行える。
- 2) 消化器疾患に伴う諸症状を理解し、所見・疫学が説明できる。
- 3) 消化器検査の目的、方法および手技、合併症とその治療法を理解し説明できる。
- 4) 消化器検査の結果について適切に理解し判断できる。
- 5) 消化器疾患入院患者に関する治療方針を立案できる。
- 6) 患者の社会的背景や心理状態等について理解し、適切に患者に接することができる。
- 7) 各種検査にチームの一員として参加し、指導医のもとで基本手技を実施できる。

【研修方略】

研修期間 : 6 週間

研修内容 :

- ①病棟で週に 1 人から 3 人の新入院患者を指導医とともに担当する。
- ②担当患者に関する病歴・身体所見・検査所見・過去の資料の要旨に関する情報収集を行い、総合プロブレム方式に則りプロブレムリストごとの検討・評価を行う。
- ③担当患者に関する「入院診療計画書」を指導医とともに作成し、患者とその家族にわかりやすく説明する。消化器疾患診療におけるクリニカルパスについてもその意義を理解し実際に運用する。
- ④担当患者の検査、他科診察、治療に同行し、患者の心理状態等についても理解するよう努める。
- ⑤病棟での入院患者カンファレンスで担当患者に関する症例の呈示を行う。適切な医学用語を用いて症例の呈示を行い、必要に応じて積極的に指導医あるいは消化器外科等他科の専門医にも助言を求める姿勢を身につける。
- ⑥担当患者の退院時にはすみやかにサマリーを作成し、指導医のチェックを受ける。
- ⑦消化器検査の合併症とその治療法を熟知した上で、消化器科で実施される各種検査にチ

ームの一員として参加し、基本手技を指導医のもとで実施する。

⑧緊急内視鏡検査など腹部救急疾患の初期治療に参加し、緊急検査・治療の適応を適切に判断する能力を培う。

⑨病院の内外で実施される消化器関連の講演会や勉強会にも積極的に参加する。

週間スケジュール：

	月	火	水	木	金	土
7時30分	Morning Report	Morning Report	Morning Report	消化器手術	Morning Report	
8時00分	ERカンファ	ERカンファ	ERカンファ	例検討会	ERカンファ	
午前	消化器系各種検査 (GIS, UGI, 注腸, エコー)					研修医 アルド
午後	病棟、特殊検査、処置 (ERCP, PTCD, 血管造影など)					
夕刻	CPC/ER/ 内科会		18:00- 入院症例 検討会	内視鏡症例 検討会		

*週1回半日の時間内全科ER当番がある。

作成必須レポート：

- 1) 食道・胃・十二指腸疾患（食道静脈瘤、胃癌、消化性潰瘍、胃・十二指腸炎など）
- 2) 小腸・大腸疾患（イレウス、急性虫垂炎など）
- 3) 胆嚢・胆管・膵疾患（胆石、胆嚢炎、胆管炎、急性・慢性膵炎、膵癌など）
- 4) 肝疾患（急性・慢性肝炎、肝硬変、肝癌など）

【研修評価】

SB0s	領域	目的	方法	測定者	時期
1	想起	形成的	観察記録	上級医	カンファレンス時
2	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
3	想起	形成的	口頭試験	上級医・指導医	ラウンド時
4	解釈	形成的	観察記録	上級医・指導医	カンファレンス時
5	問題解決	形成的	口頭試験	上級医・指導医	カンファレンス時
6	態度	形成的	口頭試験	指導医	ラウンド時
7	技能	形成的	観察記録	上級医・指導医	ローテート中